

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 7 年 6 月 23 日				
HIYOKO STUDY小山教室(放課後等デイサービス)						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		パーティションを使用するなど活動場所を分けている 広さもあり、トイレや個室の設置も十分にできている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	1	3		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		ユニバーサルデザインを含め、子ども達にわかりやすく提示している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		日々の掃除に加え、アルコールでの消毒作業も毎日実施している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。			クールダウンスペースが設置されており、いつでも誰でも使用できるようになっている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	職員間での情報共有や目標設定を密に行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者向け評価表を実施しその内容をスタッフ間で共有し改善点や工夫すべきことを話し合っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	日々MT時間を取り意見交換等を行っている	業務について話し合い等を行っているが、改善まで至っていない
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		第三者による外部評価を実施予定である	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		月1回は研修を受講できる機会が確保されている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		日々の支援のスケジュールや活動内容を作成し、伝達も行っている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		定期的なアセスメント・モニタリングを行い客観的分析の観点から計画書の作成を行っている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		放課後等デイサービス計画書作成の際は、全職員共通理解のもと子どもの最善の利益を考慮した話し合いを行っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		日々の記録を記入する際など、計画書を確認しながら支援を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		アセスメントシートを用いて取り組んでいる	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		ねらいをもとに支援内容を考え、具体的に支援を行えるよう設定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		立案を基に情報交換を密に行い共通理解を深めたうえでチームで立案を行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		固定化しないよう新しい取り組みを提案、検討している	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		個別・集団どちらも適切に組み合わせ計画書の作成、支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		支援開始前にその日出動している職員全員で当日の支援内容等の確認を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	シフトに応じて退勤時間が異なるため、当日中は難しい場合もある その場合は翌日には必ず共有を行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		支援記録の徹底を行っている 定期的に見返しを行い検証、改善に努めている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		年2回のモニタリングを必ず行い、それ以外にも必要に応じて取り組んでいる	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		ガイドラインの確認、周知をしっかりと行い複数組み合わせを行っている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		普段から自己選択、自己決定ができる活動を提供して、普段のスタッフとのやりとりでも促している	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		児童発達支援管理責任者を中心に参加している 子どもの状況を把握してから参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		協力医療機関や保育園等の関係機関と連携している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		学校送迎時や担当者会議にて子ども達の学校での様子の共有等の情報共有を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1	就学前に利用していた関係機関と情報共有を行い相互理解に努めている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		デいの移行先や卒業時には、これまでの支援内容や情報共有を文章や会議にて情報共有を行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1	専門機関と連携を図り必要に応じて助言等を受けている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		地域の子ども達と関わる活動を計画できていない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2	児発管が参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		日々の支援での様子や出来事を送迎時などに共有している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		ペアレントトレーニングが必要な方はいると感じるが行うことができていない
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に書面を確認しながら説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		面接時等に子どもや保護者の意向を確認している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		放課後等デイサービス計画書を提示しながら説明を行い同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		保護者から相談があった際には必要な助言や面談を行っている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		4	保護者会を開催することができていないため、今後開催を予定している	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情が出てしまった場合には、早期対応できるように迅速に改善に努めている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		ブログやお便り等の作成を行い支援の様子や取り組みなどを情報発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		施錠できる書庫での保管を徹底している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		利用児やその保護者に対してわかりやすく説明する等の配慮を行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		自施設に地域の人を呼んだり交流する活動は行えていない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		月1回は発生を想定した訓練を実施し、保護者にも周知している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		BCPを策定し定期的に訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		保護者から聞き取りを行い、てんかん発作等の状況確認を行っている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		食物アレルギーのある子どもに対するおやつ の提供や活動内容に気をつけている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全、安心な環境を作るために、配置や提示物等に気をつけている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		保護者へ周知している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハットがあった際は事業所内だけではなく、会社全体で共有し再発防止に努めている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止研修を実施している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		契約時や面談時に保護者様に説明を行い同意を得ている 放課後等デイサービス計画にも記載している	